

③スポーツ交流

1. 埼玉国際ジュニアサッカー大会

(1) 自治体名

日本の自治体	埼玉県
海外の自治体	2011大会：マレーシア、タイ王国、大韓民国 仁川広域市、 オーストラリア ニューサウスウェールズ州、中華人民共和国 江蘇省

(2) 取組内容

2002 FIFAワールドカップ埼玉開催の感動を引き継ぎ、次代を担う子供たちのサッカーを通じた交流により、青少年の健全育成と国際交流を推進し、あわせて埼玉のイメージアップを図るため、2002年から実施している小学生（U-12）による国際サッカー大会である。

2011大会は、海外5チーム、県外選抜11チーム、県内選抜8チームの合計24チームで開催した。2011大会の概要は次のとおり。

大会期間	平成23年7月19日(火)～25日(月) 7日間
スケジュール	第1日：7月19日(火) 海外チーム来日 第2日： 20日(水) 海外チーム交流事業 第3日： 21日(木) 海外チーム歓迎会（埼玉スタジアム2002） 第4日： 22日(金) 予選試合 第5日： 23日(土) 順位決定トーナメント 第6日： 24日(日) 順位決定戦、決勝戦、表彰式 第7日： 25日(月) 海外チーム離日
試合会場	埼玉スタジアム2002他
試合結果	優勝 タイ王国選抜 準優勝 佐賀県選抜 第三位 埼玉県西部選抜

(3) 取組を紹介しているホームページのURL

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/football/>

(4) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	県民生活部青少年課		
電話番号	048-830-5858	電子メール	a2006-05@pref.saitama.lg.jp

2. 1) クロアチアカップサッカーフェスティバル ミニサッカー大会

2) 当間多目的グラウンド（クロアチアピッチ）クラブハウス建設事業

(1) 自治体名

日本の自治体	新潟県十日町市
海外の自治体	クロアチア共和国

(2) 取組内容

<p>1) 2002年日韓ワールドカップの事前キャンプ地として、十日町市がクロアチア代表チームを受け入れをきっかけに、市とクロアチア共和国との交流が10年間続いている。</p> <p>クロアチアカップサッカーフェスティバルは、2002年のキャンプ時にクロアチアサッカー協会から十日町市に寄贈された、クリスタルガラスの大会カップを争奪するミニサッカー大会で、今日まで毎年開催されている。クロアチア代表チームがキャンプをおこなったことから名付けられた「クロアチアピッチ」において、県内外から、6カテゴリーに延べ約300人が参加し、駐日クロアチア大使を招いて大会カップの授与が行われている。昨年は、クロアチア大使館チームも参加して優勝するなど、10年を経た現在もなお交流が深まっている。</p> <p>2) クロアチアピッチは、クロアチアカップをはじめ、なでしこジャパンやアンダー日本代表、Jリーグチームなどのキャンプ地として需要が高まっており、クラブハウスの必要性が問われていた。平成20年に、前駐日クロアチア大使からの申出により、交流の証としてクロアチアピッチのクラブハウスのデザインを無償で提供いただけることとなり、クロアチアの著名な建築家ユニットP&Rアーキテクツのデザインによる「ジャパン・クロアチアフレンドシップハウス」の建設が決定した。このクラブハウスは平成24年6月に竣工し、駐日クロアチア大使、建築家はじめ、日本外務省関係者など、日本内外からの出席者が集った。竣工式典では、十日町市とクロアチア、ひいては日本とクロアチアの友好関係拡大、交流の促進などについての意見が交わされた。</p> <p>今後の展望としては、交流10周年を迎え、日本とクロアチアの「友好の首都」として前大使から位置づけられた十日町市において、新たに完成したフレンドシップハウスを拠点とした、スポーツ、文化などの交流が期待される。また、外務省が推進する自治体と国との交流であるグローバル外交の拠点としての発展が望まれる。(中東欧課では、事業計画があれば協力することのこと。)</p>
--

(3) 取組を紹介しているホームページのURL

--

(4) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	スポーツ振興課		
電話番号	025-756-5013	電子メール	t-edu-sports@city.tokamachi.lg.jp

3. 揖斐川町国際交流事業（マラソン交流・中学生交流）

(1) 自治体名

日本の自治体	岐阜県揖斐川町
海外の自治体	アメリカ合衆国ユタ州セントジョージ市

(2) 取組内容

揖斐川町とセントジョージ市は町をあげてのマラソン大会があるという共通点から、平成元年から交流を開始。毎年 10 月に行われるセントジョージマラソンには前年度のいびがわマラソン成績優秀者やマラソン関係者を派遣し、11 月に行われるいびがわマラソンにはセントジョージマラソン成績優秀者を招待ランナーとして受け入れている。お互いの大会運営を学び、自分の大会で活かしている。

また、平成 10 年から中学生交流として中学生派遣を開始、平成 17 年にはセントジョージ市からの学生の受け入れも開始され、学校訪問等をして交流している。

派遣中は現地のホストファミリー宅でホームステイをすることにより、ホストファミリーとの交流を通して、自然とお互いの文化や慣習を共有し、理解することができる。

(3) 取組を紹介しているホームページのURL

<http://www.town.ibigawa.lg.jp/>

(4) 問い合わせ先（担当課）

担当部署名	総務部政策広報課		
電話番号	0585-22-2111	電子メール	kouhou@town.ibigawa.gifu.jp